

第 62 回大阪建築コンクール入賞発表

主催／公益社団法人大阪府建築士会 後援／大阪府

■渡辺節賞部門 奨励賞 西陣産業創造會館（旧京都中央電話局西陣分局舎）

設計者 柳樂和哉（株式会社 NTT ファシリティーズ）



柳樂和哉
 1985年11月生まれ
 2005年4月 京都工芸繊維大学工学部造形工学科入学
 2009年3月 京都工芸繊維大学工学部造形工学科卒業
 2012年4月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程前期入学
 2016年3月 京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程前期修了

2009年4月 株NTTファシリティーズ入社
 現在 株NTTファシリティーズ 関西事業本部 エンジニアリング&コンストラクション事業部
 [主な建築作品と受賞歴]
 福岡銀行門司支店 〈第7回北九州市都市景観賞佳作〉
 南あわじ市役所 〈2015年グッドデザイン賞、DSA2016地域賞、JIA優秀建築選2016、第17回 瓦屋根設計コンクール銀賞〉
 京都御前ビル 〈第3回 京環境配慮建築物環境建築賞〉

建築位置／京都市上京区	構造／RC造・一部木造
建物用途／事務所（コワーキングスペース）	階数／地上3階
建築主／西日本電信電話株式会社	敷地面積／4,584.75㎡
Impact hub Kyoto	建築面積／2,112.88㎡
施工者／株式会社吉原工務店	延床面積／4,738.60㎡
竣工年月／2016年10月	撮影 エスエス大阪 津田 裕之

〈審査講評〉文化財の保存・活用の成否はプロジェクトに関わる「人」で決まるといっていい。専門の知識や技術はもちろん必要だが、大きな原動力になるのは建築への愛だと思ふ。旧電話局の歴史をこつこつと紐解きながら建築に向き合った真摯な姿勢は「人」を表彰するに値する。賞の性格上、構造の情報が少ないので早急な判断は禁物だが、「耐震改修」という一点に関しては、他の選択肢がないとはいえない。さらなる飛躍に期待して奨励賞とした。（審査委員 樹田洋子）

〈審査講評〉緻密な改修履歴の調査とその解釈を通して、設計者の当該重要文化財に対する愛を強く感じられた。今回の耐震改修に伴う改修が、今後、その履歴の一つの段階として回収され、次の改修へ繋いでいくかのような控えめでシンプルなデザインに好感がもてた。その場に長く建ち続けることで生まれる地域的価値を踏まえつつ、周辺に影響を与える窓辺のデザインや、アプローチや外構のデザインによる「外に開かれた」インテリアデザインが今後望まれる。（審査委員 松岡 聡）

審査風景



■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 豊中市立文化芸術センター 江副敏史・多喜 茂・萩森 薫・宮本順平
 て ん し ば 松田知也・宮島照久・鈴木雅史・西村 敬
 ■渡辺節賞部門 渡辺節賞 該当作品なし
 奨励賞 西陣産業創造會館（旧京都中央電話局西陣分局舎） 柳樂和哉

趣旨

建築士はその職責を通じて地域社会の発展に寄与し、建築美を通じて建築文化の向上、ひいては地域文化の振興にも寄与していく必要があり、その責務は重大である。

大阪建築コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通じて建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者である大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の設計者を表彰する。同時に行う渡辺節賞については、新しい建築文化の原動力となる若い優れた設計者をたたえ、さらなる発展を望むものである。

募集範囲

2013年1月1日から2017年12月31日の間に竣工し、完了検査済証の交付を受けた建築物

- * 建築確認申請不要物件は完了検査済証不要
- * 竣工年月日は工事完了時

審査経過並びに総評



審査委員長 松隈 洋

長い歴史を誇る大阪建築コンクールでは、これまでも何度か審査委員を務めた経験はあった。けれども審査委員長はじめの経験であり、他の委員とはすべて初対面である。緊張しながら審査に臨むことになった。でも杞憂だった。事務局のサポートもあって、活発な議論が交わされ、評価軸をめぐっても、自然なかたちで意見がまとまっていった。審査の中で大切にしようと思ったのは、大阪府

●大阪府知事賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない
 建築位置：近畿二府四県
 応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者

●渡辺節賞部門

対象建築：建物の種類・規模は問わない
 建築位置：近畿二府四県
 応募資格：設計者が大阪府建築士会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
 完了検査済証発行日現在 39歳以下

審査委員会

- 委員長 松隈 洋（京都工芸繊維大学教授）
 委員 鉾井修一（京都大学名誉教授）
※50音順
 樹田洋子（桃李舎主宰）
 松岡 聡（近畿大学教授）
 松田浩三（大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長）

審査

応募数 大阪府知事賞部門 34点
 渡辺節賞部門 16点
 審査委員会 4回
 ●第1次審査
 2月13日 書類・図面、写真によって、大阪府知事賞部門7点、渡辺節賞部門3点を選考
 ●第2次審査
 2月23日、3月19日 第1次審査通過作品について現地審査を2日間実施
 ●最終審査
 3月20日 第2次審査日程終了後に実施
 大阪府知事賞部門：大阪府知事賞2点、渡辺節賞部門：奨励賞1点を選出
 渡辺節賞は該当なし

表彰式

とき 平成30年5月23日（水）
 本会定時総会式典席上
 会場 KKR 大阪

知事と渡辺節の名前を冠した賞の意味を再確認することである。大阪府知事賞は、誰もが共有できる公共的で普遍的な方法と価値をつくり出していること、渡辺節賞は、新人賞の意味合いも強い賞の性格から言っても、建築家の出発点となる原石のような硬さと色あせない若々しさが求められること。そのような視点が議論を通して共有されていったと思う。逆に言えば、それは、今の時代において建築の何を評価し、何を選ぶのか。審査員の見識そのものが問われる作業でもあった。

今回は知事賞部門に34点、渡辺節賞に16点の応募があり、最初に応募書類による一次審査を行った。十分な時間をかけて各自で応募書類を見て回った後、それぞれの判断により、現地審査に推す作品の投票を行った。そして、集計結果を見ながら、得票を得た一つ一つの作品

の何を評価したのか、について各委員が意見を出し合い、評価軸を見定めつつ、最後は投票ではなく、全員の合議により現地審査の対象となる建築を選定した。一次審査の結果、府知事賞7点、渡辺節賞3点が現地審査の対象となり、2日間にわたって全10作品を巡った。そして、2回目の現地審査の翌日に最終審査会に臨んだ。そこでは、巡った順に、書類審査時点との印象の違いも含めて、現地で立地条件や建物の在り方を実見し、設計者からの説明を受けた上での最終的な評価について、各自の意見を交わしながら、最終候補の絞り込みを行った。この際、一次審査と同じく、投票ではなく、議論を尽くすことを心がけ、最後は、やはり合議により、全員一致で受賞作品を決定した。府知事賞に選ばれた二つの作品は、

まったく異なる与条件と規模ではあったが、いずれも現在の建築界で共有したい方法と価値を有する点で、高く評価された建築である。「豊中市立文化芸術センター」は、地元文化への理解度の高さもあるのだろう、市側の周到な企画に基づいた建築計画から、独自の構法の開発や素材の追求に至るまで、正道と言える説得力のある完成度が実現されていた。隣に建つ既存の文化施設との関係性も良く練られており、その控え目なたたずまいと安定感の特筆に値する。10年前からそこにあり、10年後も変わらずに市民に愛されているだろうと思えた。また、「てんしば」は、厳しい予算と工期の中で、事業に求められた都市に対して閉じ

ていた公共空間を開くことに成功しており、小さな建築ながら、ランドスケープ的な都市への大きな提案を堅実に果たしていることが評価された。ただ、現地を訪れて残念に思ったのは、竣工後に別の設計者によって増築や新築が行なわれ、中央の芝生広場の使い方も、設計者が思い描いた、誰のものでもない都市の広場の性格を損ねている印象を受けたことである。竣工当初の良さが保たれ、健全な形で生き活きと使われるために何が必要なのか。発注者と管理者、ひいては市民の公共空間への意識の向上こそが求められているのではないかと思う。そして、渡辺節賞奨励賞に選ばれた「西陣産業創造会館」は、国の重要文化財の旧・京都

中央電話局西陣分局舎（1921年）を耐震改修したものだが、一担当者としての立場を超えて、個人的な時間を費やしてこの建築の歴史を研究調査し、それを活かす形での改修を行った設計者としての取り組みに共感が集まった。大組織の中で、このような仕事に挑む若い設計者が出てきたこと自体、時代の転換を象徴している。今後、既存建物の改修という地道な試みがさらに広がり、歴史と時間と対話することの意義が若い世代に共有されていってほしいと思う。

続いて、現地審査で受賞に至らなかった作品について、コメントを記しておく。府知事賞候補の「竹谷商事新社屋」は、基礎抜いの1階部分の取り扱いと事

務室の採光や断熱などに難が指摘され、「Zepp 大阪ベイサイト」は、ライブハウスとして求められる厳しい性能に応える機能の追求は注目されたものの、周辺環境への開き方や開演待ちの空間の乏しさが弱点となった。「宝ホールディングス歴史記念館」と「大光電機株式会社技術研究所」は、記念館と研究所という、いずれも一般には開放されていない施設として、それぞれ求められた要求に的確に応えた良質で洗練された建築ではあったが、周囲に対して閉鎖的な外観の印象と、使用者にとっても外部との関係性を味わにくい空間構成が惜しまれた。「近畿大学東大阪キャンパス整備計画」は、新しいキャンパス像を求める大学側の希望

を忠実にかなえた斬新なデザインが眼を引いたが、さまざまなデザインコードの寄せ集め的な印象が強く、設計者の理想とする大学キャンパス像とは何か、についての核心となる設計思想が読み取れない点が残念に思えた。渡辺節賞候補の「ある画家のアトリエ」は、施主の求めに丁寧に応じた空間構成とディテールの完成度が注目されたが、渡辺節賞に期待される建築に向き合う初心の緊張感を感じ取ることができなかった。「JURAKU RO」は、厳しいコストの中で工夫しながら良質な空間構成を実現している一方で、範を得たという京町屋の良さである露地や坪庭による光と風の抜けが実現されていないことや周囲に対して突出したスケー

ルであることに異論が出された。最初に触れたように、さまざまな条件や規模を持つ多様な応募作品を審査する中で、審査員一同がその建築に発見したいと強く願ったのは、施主との共同作業の先に立ち現れる、こんな空間が身近な場所に増えていったら居心地の良い街になる、と誰もが思える普遍性と公共性を持つ風景に対する構築への意志だったのだと思う。この歴史ある大阪建築コンクールをめぐる議論が、これからもそのことへ向けて開かれていくことを願っている。

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 豊中市立文化芸術センター

設計者 江副敏史・多喜 茂・萩森 薫・宮本順平（株式会社日建設計）



建築位置／大阪府豊中市
 建物用途／劇場・展示室・会議室・カフェ
 建築主／豊中市
 施工者／大林組・河崎組特定建設工事共同企業体
 竣工年月／2016年8月
 構造／RC・SRC・S・RM造
 （鉄筋コンクリート組積造）

階数／地上3階・地下1階・PH1階
 敷地面積／16,660.11㎡
 建築面積／6,624.67㎡
 延床面積／13,425.30㎡

撮影 東出写真事務所

〈審査講評〉環境工学的には大変興味深い材料・施工である。基本はコンクリートであり断熱性や吸湿性は低いはずだが、それなりの暖かさが感じられ結露の跡も見られない。ほぼ直方体に近い室でもエコーは少なく、視覚的にも拡散性があり柔らかな感触を与える。表面の多孔性と凹凸を持たせた壁面構成がこのような好ましい特性を生み出しているのだろうか。物理的な材料・表面特性を把握し、その長所を生かした設計へのさらなる展開を期待したい。（審査委員 鉦井修一）

〈審査講評〉築35年の既存ホールとスクエアを形成しつつ、スクエアからホワイエへと南北軸をし、エリア全体に新たな流動性を生んでいる。高さを抑えたファサードをニッチでボリューム分節し、一帯があたかも当初から計画されたかのような配置である。既存ホールを意識したであろう天井高6mのピロティと、ホワイエを取り巻く2Fギャラリーの低い天井高が内外で絶妙な親密感を生む。組積モジュールによって空間を構成するという非常に「建築的」な構成手法とは一見相反する、親密感や優しさを感じるの、市が長く取り組んできた文化活動と設計者の優れた手腕の共同作業によるものに違いない。（審査委員 松岡 聡）



江副敏史
 1957年4月生まれ
 1980年3月 京都大学工学部建築学科卒業
 1980年4月 株式会社日建設計に入社
 現在 デザインフェロー、京都大学及び京都工芸繊維大学非常勤講師

[主な建築作品と受賞歴]
 大阪ワールドトレードセンター(大阪府咲洲庁舎)〈日本建築学会作品選奨、日本建築士事務所協会連合会建築賞優秀賞〉／兵庫県立芸術文化センター(日本建築学会作品選奨、BCS賞)／大阪弁護士会館(日本建築学会作品選奨、BCS賞)／福山市中央図書館(まなびの館ローズコム)〈日本建築学会作品選奨、日本建築士会連合会賞優秀賞〉／中之島フェスティバルタワー、中之島フェスティバルタワーウエスト(大阪建築コンクール知事賞)



多喜 茂
 1966年4月生まれ
 1991年3月 金沢工業大学大学院修士課程修了
 1991年4月 株式会社日建設計に入社
 現在 デザインスタジオ設計主管

[主な建築作品と受賞歴]
 関西外国語大学 中宮キャンパス インターナショナル・コミュニケーションセンター(大阪都市景観建築賞大阪府知事賞)／関西外国語大学 中宮キャンパス7号館(日本建築学会作品選集)



萩森 薫
 1978年7月生まれ
 1997年3月 早稲田大学大学院修了
 1997年4月 株式会社日建設計に入社
 1997年4月 設計部部長
 現在 ドキュメントコントロール室室員

[主な建築作品と受賞歴]
 キャナルテラス堀江(日本建築家協会優秀建築選、大阪都市景観建築賞)／福山市まなびの館ローズコム(日本建築学会作品選奨、日本建築士会連合会建築賞優秀賞、中国建築大賞)／豊中市立文化芸術センター(日本建築士会連合会建築賞優秀賞、日本建築家協会優秀建築選)



宮本順平
 1984年10月生まれ
 2009年3月 京都造形芸術大学大学院修了
 2009年4月 株式会社日建設計に入社
 2009年4月より現在 設計部部長

[主な建築作品と受賞歴]
 神戸市須磨区庁舎(日本建築家協会優秀建築選)／豊中市立文化芸術センター(日本建築士会連合会建築賞優秀賞、日本建築家協会優秀建築選)

■大阪府知事賞部門 大阪府知事賞 てんしば

設計者 松田知也・宮島照久・鈴木雅史・西村 敬（株式会社竹中工務店）



建築位置／大阪市天王寺区
 建物用途／公園・商業・スポーツ施設等
 建築主／近鉄不動産株式会社
 施工者／株式会社竹中工務店
 竣工年月／2015年11月

構造／W造
 階数／地上2階
 敷地面積／28,534㎡
 建築面積／2,604㎡
 延床面積／2,527㎡

撮影 古川泰造

〈審査講評〉プロジェクトの成功の要因は木造の選択にある。計画初期は鉄骨案だった。地下の既存躯体に配慮した軽量化と工期短縮を目的に変更したが、芝生との調和、周辺の超高層との対比からも木造が正解だ。架構は流通材の材長6095mmを最大に生かしたシンプルな計画で、あらかしの木のリズムが美しい。大阪人としては「天王寺」が再整備によって洗練され過ぎることを心配していたので、おらかな公園ができて嬉しい。ネーミングもいい。（審査委員 樹田洋子）

〈審査講評〉天王寺公園の一角を一般開放し、駅周辺の賑いを創出するプロジェクトの中で、公園の入口から芝生広場に至るアプローチ部分の両側に並ぶ建築群として整備されたもの。個々の建物は華美に走らず、コストも抑えられシンプルな造りで統一。木造だが窓面が大きくとられ、明るい雰囲気で一帯の風景にも馴染んでいる。また、この地区のイメージの一新と集客力の向上に大きく貢献している建物でもあることから高く評価された。（審査委員 松田浩三）



松田知也
 1965年8月生まれ
 1985年4月 早稲田大学理工学部建築学科入学
 1989年3月 早稲田大学理工学部建築学科卒業

1989年4月 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学入学
 1991年3月 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学修了
 1991年3月 株式会社竹中工務店入社 現在に至る
 [主な建築作品と受賞歴]
 2005年 メディテラス
 2008年 阪急西宮ガーデンズ
 2014年 あべのハルクス(第56回BCS賞)
 2016年 てんしば(天王寺公園エントランスエリア)〈グッドデザイン賞金賞、日本照明賞〉
 2016年 枚方T-SITE(日本建築士連合会賞優秀賞)



鈴木雅史
 1978年5月生まれ
 1997年4月 早稲田大学理工学部建築学科入学
 2001年3月 早稲田大学理工学部建築学科卒業

2003年3月 早稲田大学大学院理工学研究科建設工学専攻修了
 2003年4月 株式会社竹中工務店入社 現在に至る
 [主な建築作品と受賞歴]
 2008年 Hyundai Motor Manufacturing Czech Project 2014年 あべのハルクス(BCS賞、DSA空間デザイン賞入選、ディスプレイ産業優秀賞)
 2016年 萬世電機新本社
 2016年 日本建築学会技術部門設計競技(優秀賞)
 2016年 てんしば(天王寺公園エントランスエリア)〈グッドデザイン賞金賞、日本照明賞、大阪都市景観建築賞緑化賞〉



宮島照久
 1968年1月生まれ
 1993年3月 名古屋工業大学大学院社会開発工学科修了
 1989年3月 ハーバード大学大学院GSD修了

1993年4月 株式会社竹中工務店入社 現在に至る
 [主な建築作品と受賞歴]
 1996年 神戸改革派神学校(第39回BCS賞)
 2009年 トヨタカローラ新大阪本社(大阪建築コンクール特別賞)
 2010年 台湾高雄市国際クルーズ船ターミナル国際設計コンペ(3位入選)
 2014年 あべのハルクス(第56回BCS賞)
 2016年 てんしば(天王寺公園エントランスエリア)〈グッドデザイン賞金賞〉
 2016年 枚方T-SITE(日本建築士会連合会賞優秀賞)



西村 敬
 1979年12月生まれ
 2000年4月 京都大学工学部建築学科入学
 2004年3月 京都大学工学部建築学科卒業

2004年4月 京都大学大学院都市環境工学研究科入学
 2006年3月 京都大学大学院都市環境工学研究科卒業
 2006年4月 株式会社竹中工務店入社 現在に至る
 [主な建築作品と受賞歴]
 2010年 立命館大学BKCSスポーツ健康科学部棟
 2014年 京湯元ハヤシ瑞風閣(京環境配慮建築物環境建築賞、DSA賞)
 2016年 てんしば(天王寺公園エントランスエリア)〈グッドデザイン賞金賞、日本照明賞、大阪都市景観建築賞緑化賞〉